



# たわわなデラウェア!

(ぶどうを収穫する農家：高松地区にて)

## 公園遊具の更新など 補正予算を可決

### CONTENTS

平成26年 第2回 定例会	2
政治倫理審査会 結果報告	4
平成26年 第1回 臨時会	6
一般質問(5人が登壇)	7
常任委員会レポート	12
議員研修報告	15

編集/かほく市議会広報特別委員会

ホームページ <http://www.city.kahoku.lshikawa.jp>  
発行/石川県かほく市議会 住所/石川県かほく市宇野気1-81番地

E-mail [gikai@city.kahoku.lshikawa.jp](mailto:gikai@city.kahoku.lshikawa.jp)  
076(2883)7126 FAX076(2883)7188

# 議会報告会を開催 町会区長会連合会役員との意見交換



議会改革度  
全国ランキングで  
県内2位!

日経新聞社が発表した「議会改革度ランキング」において、**全国813市区議会中かほく市議会は全国111位**。  
早稲田大学マニフェスト研究所が発表した「議会改革度調査」では、**全国の県市区町村議会**で回答のあった1444団体中**177位**で、**いずれも県内の市議会では2位**という結果であった。

議会として、これからも様々な形で意見交換を行い、これからの議会活動に活かしていきたいと考えている。

のある議会報告会となった。

各地区での現状を伺い、情報の共有とこれからの課題解決に向けての意見交換を行い大変意義のある議会報告会となった。

また、「高齢化時代における地域活動」というテーマで、委員長から「これまでの議会改革の取り組み」について説明し、町会区長会の役員の方々から、今後の議会改革についての貴重なご意見を伺った。

7月3日(木)町会区長会連合会の役員の方々と意見交換会という形で開催した。沖津議長、櫻井会長の挨拶で開会し、議長より第1回(3月)第2回(6月)議会定例会での審査内容について報告した。その後、杉本成一議会運営委員長から「これまでの議会改革の取り組み」について説明し、町会区長会の役員の方々から、今後の議会改革についての貴重なご意見を伺った。

### 議会を傍聴しませんか

次の定例会は9月2日からです。  
本会議・常任委員会などを傍聴できます。議会は身近なものです。どのような議論が交わされているのかぜひ傍聴においでください。本会議は30名、常任委員会・全員協議会は8名の定員で受付順となります。

本会議はケーブルテレビ「かほくチャンネル」で生中継・録画を見ることができます。



常に「開かれた議会」を目指しています。何なりとご意見をお寄せください。

### 委員のひとり言

倫理とは何か、人と人とならなくていくでしょうか。関係を築いていくための基準ではないでしょうか。しかし、感情、その他と色々に関わり倫理が薄らいでいってしまう。少子高齢化が進み、今後の自治体は市民ニーズも、ますます多様化し、一段と財政も厳しくなり、市民の皆様に対し、ご理解とご協力をお願いしなければならぬことも多

最近、自由と権利ばかりを主張し、義務がいつか来ない様に感じているのは、私だけでしょうか。

(杉本成一)

議会だよりは、国会図書館にも送付されています。

印刷コスト 1部 23円(発行部数 11,500部)

# 平成26年 第2回 定例会

会期 / 6月10日 ~ 6月26日

平成26年度一般会計補正予算など市長提出議案 8 件及び議会提出議案 1 件について審議し、原案のとおり可決した。  
また、人権擁護委員 2 名を適任とした。

## 質疑・討論

第2回定例会において提出された議案・請願に対し、3議員が討論を行った。

### 各会計補正予算・条例・請願に対して

共通番号制度、軽自動車等の税率引き上げに反対  
高橋成典議員  
情報化推進費3千7万円及び、行政情報システム管理事業の債務負担行為3億6千613万円に關連して、この制度は、全ての国民に番号をつけ、税や社会保障などの個人情報をも一元管理する「共通番号(マイナンバー)制度」が含まれている。国会での審議を通じて明らかになった問題は、個人のプライバシー情報が容易に照合、集約され、プライバシー侵害などが常態化するので反対。市税条例の一部改正は、多くの国民の移動手段である軽自動車やオートバイなどの増税は反対。請願3件には賛成  
「海外で戦争する国」にする集団的自衛権の行使容認に反対。  
「農政改革」の見直し、「消費税増税に反対する」の各請願には賛成。

### 討論

集団的自衛権行使容認に反対する請願に賛成  
多々見邦次議員  
安部総理は集団的自衛権行使容認を、早急に閣議決定をしたいようである。集団的自衛権、個別的自衛権、集団的安全保障の問題を、いかにも日本を取り巻く現状が危険だとマスコミが煽り立てている。尖閣諸島問題で中国からの危機を執拗に煽っているが、個別的自衛権で対応が可能である。第2次大戦で敗戦国となり、新憲法で戦争放棄をしたイタリア・ドイツは、集団的自衛権の解釈拡大で軍隊を派兵したイタリア、後方支援に限定すると言って派兵したドイツ軍にも戦死者がでていた。集団的自衛権とは他国の戦闘行為を支援することであり、行使容認は断じて許すことができないので、請願には賛成。

### 討論

全議案に賛成  
多々見武議員  
補正予算の議案2件については、マイナンバー制度に対応するためのシステム改修費、7月末から給付の臨時福祉給付金などのシステム開発費の追加、地すべり災害が見込まれる北部農免道路の現地調査費、長柄町浄化センターの機能強化工事費など、いずれも時機を失しないで取り組むことが必要な事業である。スマートフォンアプリを活用した子育て支援情報の発信や、農産物ブランド6品目のCM作成費など、事業の成果を大きく期待する。補正予算以外の議案6件については、上位法令の改正に伴い、税条例と火災予防条例の一部改正するほか、雇用促進住宅の取得、地元の強い要望による字及び小字の変更、市道の路線変更など、いずれも実施すべきものであり賛成。

### 賛成討論

## 意見書

### 「歩育基本法」制定を求める意見書

「歩育」とは、歩行運動の有効性を活用し「子どもの心身の健全な育成に資することを目的とした教育活動、保健活動および啓発運動」を含めた総合運動活動として定義されており、石川県においては、子ども施策の推進に関する行動計画であるエンゼルプランに「外遊び、外歩き」の必要性が指摘され、また官民参画による組織により親子を対象とした「歩育運動」が推進されている。すべての国民が心身の健康を保持し、生涯にわたって生き生きと暮らすことは、だれもが賛同するところであり、食の大切さについては、平成17年に「食育基本法」が制定され、教育、保育現場はもとより、家庭、地域等を中心に食育推進運動が幅広く取り組まれている。

しかし「歩育」は、「食育」の重要性と比較しても、勝るとも劣らない効用があるにもかかわらず、現状では、その運動を総合的に進め、発展させるための法律の制定がなされていない。

よって、国におかれては、「歩育」の重要性にかんがみ、「歩育」について、基本理念を明らかにし、その方向性を示し、国、地方公共団体及び国民の歩育の推進に関する取組を総合的かつ計画的に推進するために、歩育基本法を制定するよう強く要望する。

提出議員 坂井 正朝  
賛成議員 猪村 博靖  
竹内 幹雄  
(全員賛成)

## 提出された議案と審議結果

審議された案件(議決は6月26日)

案件	議案名等 内容	議決結果	
		賛成	反対
予 算 (2件)	平成26年度かほく市一般会計補正予算(第1号) ・「社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)」に係る準備作業経費の計上 ・消費税率の引き上げに伴う「臨時福祉給付金」及び「子育て世帯臨時特例給付金」の事業費の追加 ・「北部農免道路」の災害復旧工事に取り掛かる事前準備費の計上 ・市内5箇所の都市公園の遊具更新経費の計上 ・スマートフォンのアプリを活用した子育て支援情報を発信する経費の計上 など	13	1
	平成26年度かほく市下水道事業会計補正予算(第1号) ・長柄町浄化センターの機能強化を図るための経費の計上	14	0
条 例 (2件)	かほく市税条例の一部を改正する条例について ・地方税法等の一部改正に伴い、平成27年度分から軽自動車税の税率を見直し、法人住民税で法人税割の税率を引き下げるもの	13	1
	かほく市火災予防条例の一部を改正する条例について ・緑日や花火大会など、人が多く集まるイベントで火を使う際に消火器の準備を義務付けるほか、花火大会などの指定された催し物の主催者に対して火災予防上必要な業務に関する計画書の提出を義務付けるもの	14	0
そ の 他 (4件)	財産の取得について ・雇用促進住宅「高松宿舎」と「宇」気第二宿舎、について、市営住宅の老朽化による住み替えと、定住促進を図るために、市の単独住宅として取得するもの	14	0
	字及び小字の区域並びに小字の名称の変更について ・宇野気区ほか関係する森区、向野区より、かほく市「森」の部、の一部を「宇野気」の部に編入して欲しい旨の要望に対応するもの	14	0
	市道の路線変更について ・一般国道159号かほく市内における津幡バイパスの横断ボックス(狩鹿野地内)内の路面補修や照明設備などの維持管理をかほく市で行うため、市道の路線を変更するもの	14	0
	市道の路線変更について ・一般国道159号かほく市内における津幡バイパスの横断ボックス(揖江地内)内の路面補修や照明設備などの維持管理をかほく市で行うため、市道の路線を変更するもの	14	0
議会提出 (1件)	「歩育基本法」制定を求める意見書について ・国に対して「歩育基本法」を制定するよう強く求めるもの	14	0
請 願 (3件)	「海外で戦争する国」にする集団的自衛権の行使容認に反対する意見書を求める請願	3	11
	「農政改革」を見直し、食料自給率の向上を最優先した農政を求める請願	2	12
	「消費税増税に反対する意見書」の提出を求める請願書	2	12

議決結果：議長は採決には加わりません。

審議された案件(議決は6月10日)

案件	議案名等 内容	議決結果	
		賛成	反対
人 事 (2件)	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて ・坂野俊紀委員の任期満了に伴い、引き続き再任するもの	14	0
	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて ・遠藤他代美委員の任期満了に伴い、引き続き再任するもの	14	0

# 政治倫理基準に違反の

# 高橋議員に警告の措置

## かほく市議会議員政治倫理審査会

### 審査会の設置

3月19日、平成26年第1回かほく市議会定例会の最終日、別宗議員ほか2名の議員から、高橋議員を審査対象者として、政治倫理基準に違反して

### 審査請求の内容

七塚観光株式会社への債に係る損失補償を巡る住民訴訟において、原告の一人である高橋議員は、損失補償を議決した当時の七塚町議会では「損失補償契約に関する十分な審議がなされていない」、また「形式的に議決されたものである」と主張するとともに、議員活動の一環として、自らが発行する広報誌（平成24年9月16日発行）に「『議会チエック機能果たしていない』本来は議会がチエック機能を果たすべきである」と主張した。

### 審査の経過

審査会は設置から報告書提出までの間、4回開催し、審査した。

【4月11日(金)】

これまでの経過及び関係条例等を確認した。審査請求の内容について確認した。会長に竹内幹雄議員、副会長に板谷悦郎議員を選出。

【4月30日(水)】

審査対象議員（高橋議員）から意見聴取。審査請求者（別宗議員・杉本正一議員・金田議員）から説明聴取。

【5月21日(水)】

総務部長（当時の七塚町総務課長）から当時の事実を確認。別宗議員ほか2名からの審査請求には理由があり妥当と決定。

高橋議員の行為は、政治倫理基準違反行為にあたることと決定。

【6月2日(月)】

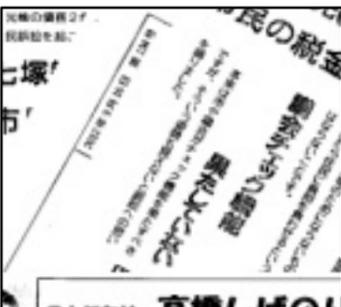
審査報告書(案)の検討。審査会として、議長に対し、高橋議員の発行する広報誌において訂正及び謝罪の掲載を求めるとともに、「警告」の措置をとることが妥当であると決定。

【6月10日(火)】

議長に審査結果報告書を提出。



経過及び結果を報告する竹内会長



議長に報告書を提出

- 政治倫理審査会委員
- 会長 竹内 幹雄
  - 副会長 板谷 悦郎
  - 委員 猪村 博靖
  - 寺内 照雄
  - 杉本 成一
  - 多々見 邦次

### 審査の結果

高橋議員が発行した広報誌が議員活動の一環としてなされた表現行為であったとしても、市民全体の代表者である議員としては、議会における審議の経過や議決内容に関する正しい情報を的確に市民に伝えるべき責務を負っており、客観的事実に反する表現や、著しく公平さを欠く表現までもが許されるものではない。

審査会では、違反行為であるとの認定を踏まえ、意見集約を図った結果、かほく市議会は、議会の名誉と品位を守り、市民の信頼を回復するため、高橋議員に対し、その発行する広報誌において訂正及び謝罪の掲載を求めるとともに、今後、議員として品位と名誉を損なう行為をしないよう警告の措置をとることが妥当であると議長に対し付言することとした。

## 警告文

議員高橋成典君は、七塚観光株式会社の負債に係る損失補償を議決した七塚町議会が十分な審議を経たことを知りながら、議員活動の一環として、七塚町議会における審議経過等の客観的事実に反して、あたかも議会が十分な審議を怠ったかの如く市民に誤解を与える内容の広報誌を配布した。

右記行為は、市民の議会に対する信頼や議会の品位と名誉を失墜させ、市民全体の代表者である議員としての品位と名誉を損なうものであり、かほく市議会議員政治倫理条例第3条第1項第1号に違反する。

そこで、かほく市議会は、議会の名誉と品位を守り、市民の信頼を回復するため、議員高橋成典君に対し、かほく市議会議員政治倫理条例第10条第3号の規定により、その発行する広報誌において訂正及び謝罪の掲載を求めるとともに、同条第1号の規定により、今後、議員としての品位と名誉を損なう行為をしないよう警告する。

平成26年6月17日

かほく市議会

(本人退場で、全員賛成)



警告を聞く高橋議員

このことは、市民の議

会に対する信頼や議会の品位と名誉を失墜させ、市民の信頼を回復するため、

高橋議員に対し、その発行する広報誌において訂正及び謝罪の掲載を求めるとともに、今後、議員として品位と名誉を損なう行為をしないよう警告の措置をとることが妥当であると議長に対し付言することとした。

質問2 Q & A

就学援助の収入基準は引き下げるな

従前の水準を維持する



質問1 Q & A

子ども医療費の窓口無料化を県に求めよ

窓口無料化など、県に要望する

平成26年 第1回臨時会

平成26年5月9日、第1回臨時会を開催し、平成25年度一般会計補正予算など4議案について審議し、原案の通り承認・可決した。また、同意案件1件についても原案の通り同意した。

専決補正予算

平成25年度一般会計補正予算 (第8号)

専決条例改正

地方譲与税などの確定に伴う補正、災害復旧に関する激甚災害適用による補助率変更に伴う財源の組み替え補正。歳出は、財政調整基金の積立が主なものであり、その他、県知事選挙執行経費など精算が必要となる事業費の減額、学校における非構造部材耐震化の

後期高齢者支援金等課税額の限度額、介護納付金課税額の限度額をそれぞれ2万円引き上げるなどの改正。(賛成13・反対1)

その他

工事請負契約の締結契約の目的(仮称)かほく市立宇ノ気中央保育園建設工事(建築)契約の方法制限付き一般競争入札契約金額2億8千80万円契約の相手方兼六・山越特定建設工事共同企業体(全員賛成)

同意

固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めめること北村眞佐実氏(下山田)(全員賛成)

質疑・討論

第1回臨時会において提出された議案に対し、1議員が反対、1議員が賛成の討論を行った。

反対討論

国保条例改正に反対 高橋成典議員

国民健康保険税の課税限度額を医療給付費分51万円は据え置くが、後期高齢者支援金を現行の14万円から16万円に、介護給付金を12万円から14万円に引き上げ、合わせて4万円の引上げとなり、限度額は77万円から81万円になる。とめどもなく増え続ける国保税の負担増は市民生活を直撃し、負担の限界を超えるものであり、この改正には反対する。なお、低所得者5割・2割軽減に係る保険料軽減については、5割軽減の拡大、新たに单身世帯も対象とし、所得基準を引き上げる。2割軽減の拡大、軽減対象となる所得基準を引き上げることには評価する。かほく市においては、一般会計から基準外の繰入れをしている、かほく市国民健康保険特別会計の財政基盤を考えた場合、一部の高所得者に対して負担増はやむを得ないと判断する。

賛成討論

一部の高所得者の負担増はやむを得ない 安達肇議員

今回の国民健康保険条例の改正は、地方税法施行令の改正に伴う改正であり、低所得者に対して、保険税の軽減が拡充され、一部の高所得者に対して、保険税の課税限度額の引き上げをお願いするものであり、所得または負担能力に応じた改正となっている。今回の改正により、かほく市では338世帯の方が負担軽減となり、約10世帯の方が負担増になるとの説明であった。かほく市においては、一般会計から基準外の繰入れをしている、かほく市国民健康保険特別会計の財政基盤を考えた場合、一部の高所得者に対して負担増はやむを得ないと判断する。

質問4

介護について問う。介護保険要支援1・2の高齢者訪問介護、通所介護を介護サービスから外し、市区町村が行う事業に移した場合、市の対応はどうか。一定所得の高齢者の介護基本負担を2倍にすることに反対すべきではないか。特別養護老人ホーム入所要件を要介護度3以上の原則化に反対せよ。市民部長 制度的に要支援1・2が介護給付から外れるとしても、サービスは低下させない。一定以上の所得がある利用者の2割負担への引き上げは、月額の上限があり、利用者全員の実質的負担が倍増するわけではない。

質問5

空き家の利用を通じて地域のコミュニティを維持、拡充させる取り組みも求められている。市としても、全国の事例を踏まえ、空き家対策条例を制定すべきでは。市民部長 今後引き続き空き家台帳を活用し、現行のかほく市生活安全条例などの規定により、所有者などに対し粘り強く必要な措置を講じていく。新たな法律などの制定による内容についても注視していく。



現在、子どもの医療費は窓口で一旦支払います

質問2 Q&A

松くい虫による被害木の対策は

抵抗性クロマツの植林推進事業を実施



質問1 Q&A

市営住宅跡地の利用計画は

良好な住環境の確保を最優先とする

質問1 老朽化した市営住宅の解体が進んでいる。若い世代は集会場を使用するより、簡単に情報交換ができる小さくても良いから公園を要望している。跡地利用について、どのような計画があるのか。
A 油野市長 公営住宅法の規定により、団地内すべての住宅が撤去されなければ用途廃止の手続きを進めることができない。地域住民から公園を作っ...

質問2 今年度予算に松くい虫防除・駆除事業に631万円が計上されている。松くい虫被害による木の伐倒や、ヘリコプターからの薬散布に努力をしているが、立ち枯れの松が目立つ。今後の対策は。
A 市長 被害対策の取り組みは、松くい虫の被害に遭った木を伐倒し、薬剤の薫蒸処理をする方法のほか、健康な松を守るために松の幹に薬剤を注入して被害を予防する樹幹注入や健全な松林に地上から薬剤を散布する薬剤地上散布を実施している。



憩いの場となっている小公園

布にかわって、無人ヘリコプターによる薬剤散布も予定している。また、新たに今年度から啓発活動の一環として、抵抗性クロマツの植林推進事業を実施している。のと里山海道沿いの保安林については、石川県が薬剤地上散布や伐倒駆除を実施しており、かほく市の貴重な財産でもある白砂青松の海岸保全をはじめ、松林の保護育成に県と連携を図りながら、適正な管理に努めたい。
Q 抵抗性クロマツの植林の基準は。
A 大西産業建設部長 区長・町内会長・各種団体・学校などが基準で、5本以上植栽管理できることが条件である。

質問2 Q&A

「支援物資供給マニュアル」を作成せよ

課題や先進地事例を調査研究し作成を検討する



質問1 Q&A

地域包括ケアシステム構築の現状と対策は

構築を確立するための支援体制を検討する

質問1 地域包括ケアシステムについて、関係機関の連携体制、在宅医療提供体制の整備、介護予防の充実、関係分野への人材確保など、取り組み状況の現状と今後の対策は。
A 油野市長 地域ケア会議で地域の課題を共有し、課題解決に取り組んでいる。関係団体と研修会や事例検討会を開催するなど、介護・医療分野の協議も実施している。
今後、地域包括ケアシステムの構築を確立するための支援体制を検討し、今年度策定する第6期介護保険事業計画に反映させる。

質問2 東日本大震災で、集積場における物資の滞留や避難所における物資の不足、特に被災直後の避難所などへの支援物資の輸送において多くの困難が生じた。地域防災計画の見直し、地域の実情にあわせた支援物資供給マニュアルを作成せよ。
A 市長 支援物資の調達や輸送は、一自治体だけでは解決できない問題であり、多方面にわたる支援体制を築くことが重要である。防災訓練を合同で実施し、訓練で出た課題や先進地事例を調査研究し、国土交通省の支援物資供給手引きを参考とし、支...



防災訓練(看護大連携)

質問3 近年、増加する空き家が社会問題化している。空き家を有効活用するための創設を含め今後の対策は。
A 森田市民部長 定住促進の一環として空き家有効活用のため、平成24年に空き家バンク制度を創設したが、制度の利用は非常に少なく所有者からの賃貸などの申し出がほとんどない状況である。今後、所有者に対し、空き家バンク登録の意思を確認し、補助制度など、他自治体の事例や、県内市町の状況を踏まえ検討する。
質問4 域学連携による取り組みはされていると思うが、さらなる地域活性化や人材育成など連携の取り組みは。
A 市長 県立看護大学と健康づくり事業など連携事業を推進している。より一層の連携推進を図るため、平成22年10月に保健や福祉の向上、地域コミュニティ発展に関する事項などの5項目から成る包括的連携に関する協定を締結した。市職員、大学教員の18名で包括的連携協議会を設置し、進めている。大学と市の双方にメリットがある連携事業を継続したい。

質問2 Q&A

消防広域化の進捗状況と今後の取り組みは

一部の業務を広域的に実施している



質問1 Q&A

北陸新幹線開業に対する取り組みは

既存の施設やイベントを通じPRを図る

質問1 来春の北陸新幹線開業が目の前にせま... 観光物産協会における新幹線開業に向けた計画は、市の観光物産の振興・促進を目的とした地場産品や観光のPRイベントなどを計画している。



2015年春に導入されるW7系の勇姿

質問2 金沢市、内灘町、津幡町との2市2町による消防広域化を計画して久しいが、現在どのような進捗状況か。 これまでの経緯も含め説明を。 また、全国的にも40の消防本部の減であったがほとんどが市町村合併によるものであり、広域化が進んでいない。 現在は、平成20年4月から通信司令事務を共同で運用しているほか、整備を進めている消防緊急デジタル無線は整備費の低減化を目的に、平成28年4月からの運用開始をめざしているなど、一部の業務を既に広域的に実施している。

質問2 Q&A

独居高齢者の見守りに新たなサービス導入を

実証実験など調査研究を行い導入を検討



質問1 Q&A

認知症徘徊対策として徘徊模擬訓練の実施を

実施も検討し、認知症に優しいまちづくりへ

質問1 我が国の高齢化率は24・1%であり、この内、認知症の方は、約1割を占めている。その中で徘徊行方不明のリスクがある方は2割くらいと言われている。 4月に、私の近所で軽い認知症の方が失踪し、警察、消防、消防団、行政職員、地域の方々が2日間必死に捜索したが見つからず、現在もお行方不明のままである。 今回の件を契機に、全国の自治体でどのような取り組みを行っているか調べたところ、多くの自治体で「徘徊SOSネットワーク」を構築し、その中で、実際に「徘徊模擬訓練」を行い、「情報配信手段の確認」や「声かけトレーニング」を行っていることが分かった。 当市においても「徘徊SOSネットワーク」を立ち上げ、「徘徊模擬訓練」を行う考えは。

さりげない声かけ・見守りが高齢者と家族を変えます。 可能な範囲でご協力ください。 ●やさしく声かけ「一休みされませんか」「どちらまでおでかけですか?」など ●挨拶とわかったら... おだやかに、相手の目線に合わせてやさしい口調で話しかけてください。 一見落ち着いたようでも、まだ徘徊することがあります。誰かが側で見守ってください。 ●長時間歩いているかもしれないので、飲み物を勧めてください。 ●連絡先を書いたものを身につけていないか確認してください。 自宅の連絡先を身につけている場合は自宅へ連絡を、わからない場合は警察へ連絡を。 徘徊高齢者を見守ろう。 こんにちは。 何かお探しますか? お手伝いしましょうか?

質問2 核家族化の進行に伴い、一人暮らし高齢者が増加する中、早期に異変に気付く「見守りネットワーク」が大切である。 その一環として、遠く離れた家族が見守るため、様々なシステムが開発されていることから、それらを活用した、新たなサービスの導入も検討すべき時期では。 市長 市として見守りの必要があると判断された方に対しては、緊急通報装置の貸与や、見守り配食サービスを行っているが、軽度の見守りが必要な一人暮らしの方は、今後も増加傾向にある。 民間メーカーの開発により、安否確認の選択肢も多くなっている中、業者が提案する実証実験などを通じて、効果的なシステム構築についての調査研究を行い、新たなサービス導入の必要性についても検討を行う。

# 予算 決算 常任 委員会

## 全議員による分科会方式

第2回議会定例会初日の6月10日に、予算決算常任委員会を開催し、議案説明を受け質疑を行った。

主な質疑としては、マイナンバー制度に関するメリットとデメリットの質疑に対し、住民の年金など各種申請手続きに関する添付書類の省略や行政の確認作業の効率化が図られるメリットがあり、情報漏洩が懸念されるが、国において情報の一元管理を実施し、第三者機関を立ち上げて監視が行われる。

情報を取り扱う職員についても情報管理のスキル向上を図るとの答弁であった。

これらの質疑を経て詳細な審査を総務建設・市民文教分科会で行った。

### 総務建設分科会

6月19日に総務建設分科会を開催し、所管の課長から詳細な説明を求め、質疑を行った。

#### おもな質疑

多々見武分科副会長  
公園維持管理事業において、都市公園の長寿命化として、劣化の進んだ5公園の遊具を更新することにより、設置後の危険防止対策及び今後の更新計画は。

蔵谷都市建設課長  
遊具には、年齢制限や絵で示したユニバーサル



木津公園に設置予定の遊具

デザイン的な表示で、使用方法などの注意書きをイラストなどでわかりやすく示すこととしている。  
公園遊具の更新は、長寿命化計画で行った点検結果により、優先度判定に沿って順次行っていく。  
安達分科会長  
昨年8月の豪雨による北部農免道路において、現地の山側斜面が大規模な地すべりが発生したとのことであるが、原因は、雨ではなく、県が施工し  
高橋委員  
市役所に申請に来るほか、他の申請方法は、また、給付金の支給方法は。  
竹内委員  
状況と活動内容、契約期間。  
学校教育課長  
3中学校に1名ずつ配置し、英語の時間に教師と一緒に授業を行っている。  
また、すべての小学校へも週1回出向き授業に参加している。  
契約は、1年契約で、最長5年まで継続できる。

### 市民文教分科会

6月20日に市民文教分科会を開催し、所管の課長から詳細な説明を求め、質疑を行った。

#### おもな質疑

杉本正一分科会長  
スマートフォンアプリの開発は、市独自のシステムなのか。



スマートフォンアプリ構築

能任子育て支援課長  
国の補助を活用して、結婚から妊娠、出産、子育てと切れ目のない情報を発信する、かほく市独自のアプリ構築を予定している。

#### 審査の結果

6月24日、再度、予算決算常任委員会を開催し、総務建設・市民文教分科会で審査された内容について、各分科会長より報告を受け、その報告に対する質疑、採決を行った。  
一般会計  
補正予算(第1号)  
(賛成12・反対1)  
下水道事業会計  
補正予算(第1号)  
(全員賛成)  
議長・委員長は、採決には加わりません。

## 5箇所の公園遊具更新経費計上

## 子育て情報発信のアプリを構築

市民文教分科会 審査案件	
内容	平成26年度かほく市一般会計補正予算(第1号) ・スマートフォンアプリを活用した子育て支援情報の発信 ・子育て世帯臨時特例給付金システム改修費 ・住宅手当緊急特別措置費 ・臨時福祉給付金システム改修費 ・全小中学校を対象としたエネルギー教育推進経費 ・外日角小、宇ノ氣中を対象とした道徳教育推進経費 ・大海小暖房用配管修繕費 ・外国語指導助手(ALT)交代に係る経費など
賛成意見 全委員	
反対意見 無	

委員の意見に分科会長は含まれません。

総務建設分科会 審査案件	
内容	平成26年度かほく市一般会計補正予算(第1号) ・農業集落排水 長柄町浄化センター機能強化工事費 ・個人情報取扱事務のデータベース化 ・社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)のシステム改修経費(電算機器借上料の債務負担行為含む) ・農産物ブランド6品目のCM作成補助金 ・気屋地区の大谷堤改修調査委託料 ・都市計画基本図など作成に係る委託料 ・公園遊具の更新(5箇所)経費 ・北部農免道路の災害復旧に係る調査委託料 など
賛成意見 全委員	
反対意見 無	

委員の意見に分科会長は含まれません。

# 総務 建設 常任 委員会

# 住み替え先に雇用促進住宅を取得!

## おもな内容 (所管事項含む)

財産の取得  
廃止予定の老朽化市営住宅入居者の住み替え先に宇気・高松地区の雇用促進住宅を取得するもの。

杉本成一委員  
老朽化した市営住宅の住み替え先というのは、理解しているが、高齢者の方への対応は。  
蔵谷都市建設課長  
高齢者の方々にについては、1階に希望者が集中すれば、抽選になり、3階までの低層階でお願いする。



取得する雇用促進住宅 高松宿舎

は困難。  
渡り廊下を新たに付けてエレベーターを設置しても、最低でも4棟分必要で、渡り廊下を抜きにして1基で5千万円以上かかる。

から1・5倍に引き上げるもの。  
ただし、軽自動車の三輪、四輪車については、平成27年3月31日以前に登録したものは引き続き現行の税率を使用する。  
平成28年度よりグリーン化を進める観点から、新規検査から13年経過した三輪以上の軽自動車については、標準税率のおおむね2割の重課を導入するもの。

多々見邦次委員  
軽自動車税の重課は新規登録から13年経過したものが対象か。  
山川税務課長  
新規登録より、13年を経過した三輪以上の軽自動車を対象で、平成28年度から適用となる。

火災予防条例の改正  
昨年8月に京都府福知山で発生した花火大会の火災事故を踏まえ、祭礼、緑日、花火大会、展示会での防火管理体制を構築するために改正を行うもの。また、露店、屋台などを開設する場合に届出を義務づけるもの。

多々見武副委員長  
届出の様式は、定まっているのか。  
松村予防課長  
施行規則で露店、屋台などの届け出様式が規定されている。  
安達委員長  
具体的に対象となるような催事はあるのか。  
予防課長  
あくまでも火気器具を使う露店などの出店があることが基本であり、桜まつり、サマーフェスタ、かにカニ合戦、それ以外では、木津の花火大会も対象になる。

## 審査の結果

税条例の一部改正  
火災予防条例の一部改正  
財産の取得  
字及び小字の区域並びに小字の名称変更  
(以上4件、全員賛成)

集团的自衛権の行使容認に反対する請願  
食料自給率の向上を最優先した農政を求める請願  
消費税増税に反対する請願  
(以上3件、賛成1、反対5で不採択)  
委員長は、採決には加わりません。

- 総務建設常任委員会
- |      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 安達 肇   |
| 副委員長 | 多々見 武  |
| 委員   | 別宗 明敏  |
|      | 杉本 成一  |
|      | 多々見 邦次 |
|      | 金子 猛   |
|      | 板谷 悦郎  |

## 常任委員会レポート

### 河北潟の排水対策を学ぶ 河北郡市議長会 議員研修



潟をこのまま放置した場合、次世代に極めて大きな負担を課すことになりかねない状況である。  
今後は、国・県を含めた関係機関と費用対効果も十分踏まえながら協議し、対策を講じなければいけないと強く感じた研修であった。

7月2日、河北郡市議長会(会長 沖津千万人議長)による議員研修会が、津幡町で開催され、「河北潟および周辺地域の水害に対する取り組み」と題して、金沢星稜大学女子短期大学の沢野伸浩教授の講演を受講した。  
昨年の8月23日の河北郡市を襲ったゲリラ豪雨を教訓に開催されたものであり、河北潟での地盤沈下の現状、これからの短期・中期・長期的な河北潟の排水対策などについての説明があり、河北



### 議会による行政評価を学ぶ 予算決算常任委員会 議員研修



7月7日、予算決算常任委員会の議員研修会を開催した。  
かほく市議会基本条例では、「議会は、市政運営の監視及び評価を行うなければならない」と、「議員の政策の立案及び提言の能力の向上を図るため、議員の研修に努める」と規定しており、今回、予算決算常任委員会として、初めて研修会を開催した。



予算決算常任委員会で、毎年、議会による行政評価を実施し、市長に対し、各種の事業について「事業の拡充」「事業の改善」など提言しているが、その先進地である長野県飯田市議会の林幸次議長をお招きし、飯田市の行政評価の手法、チェック機能を学ぶことにより、本年も8月18日から29日にかけて予定している議会による行政評価の参考となる大変貴重な研修となった。

### 全国市議会議長会から 永年勤続表彰・感謝状

寺内照雄議員、杉本成一議員、多々見武議員に対し、長年の功績を讃え、全国市議会議長会より、表彰状が贈られ、本会議の席上、沖津議長から伝達された。

また、沖津議長が全国市議会議長会の役員としての功績により、感謝状が贈られ、坂井副議長から伝達された。

